



7 学校だより

横浜市立釜利谷中学校
発行日 令和3年11月1日(月)
発行者 学校長 木村 典明
所在地 金沢区釜利谷南3-5-1
電話 784-7311 FAX 783-9762

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/kamariya/>

学校教育目標

人との関わりを大切にします。(徳、公)
生きるための学びを大切にします。(知、開)
心と命を大切にします。(体、徳)

知…生きてはたらく知
徳…豊かな心
体…健やかな体
公…公共心と社会参画
開…未来を開く志

「卒検に落ちて…」

校長 木村 典明

9月のこの紙面で、私事ですが大型自動二輪の免許取得のために教習所に通っていることをお知らせしました。その後のお話をしますと…。12時間の教習を無事に終えて卒業検定にチャレンジしたのですが、思いもよらぬミスをしてしまい、なんと不合格になってしまいました。検定コース中にはクリアしなければならないいくつかの課題があるのですが、最後の課題である波状路（デコボコ道のようなもので、5秒以上かけて通過します）で、時間を稼ぐためにスピードを落としたのが失敗でした。“あと2つデコボコを越えれば終わり”というところで、エンジンの推力が落ち、エンジンストール（エンストです）をしてしまったのです。チーン♪検定中止…。実を言うと合格する気満々でいたので、その挫折感たるや、完全に心がへし折れてしまいました。

本番で十分な結果を出す人がいる一方で、運や調子の波に振り回されてしまう人もいます。中学校生活にも、ちょっとしたことをきっかけに、大きな挫折感を味わったり、心が折れてしまったりする場面が付き物です。“頑張ったけど成績が落ちちゃった” “自分のせいで、部活の試合に負けちゃった”…。こういったことは、どの生徒も一度や二度は経験します。大事なところで結果を出せなかった生徒を見ていると、可哀想だな、本当についてないなと思いますが、そもそもこの世の中はそういうものではないでしょうか。例えば、野球で超一流と言われるバッターも、打率は3割そこそこで、7割は凡打や三振です。生徒たちには、少々思い通りにいなくても、“自分はダメだ”とか“人生終わった”とか決めつけなくて、あきらめずに夢中になって頑張る人であってほしいと願っています。子どもがどん底から這い上がって頑張られるように、私たち大人がどんな態度でどんな言葉がけをするべきか、考えたいものです。

さて、心のへし折れた私はというと…。不合格後の補習で教官がガッツリ練習をさせてくれたので、すっかり自信を取り戻すことができました。教官の「今回は残念だったけど、次は大丈夫ですよ！」という最後の一言が、私の背中をポンッと押してくれて、晴れて合格することができました。ありがとうございます、教官！

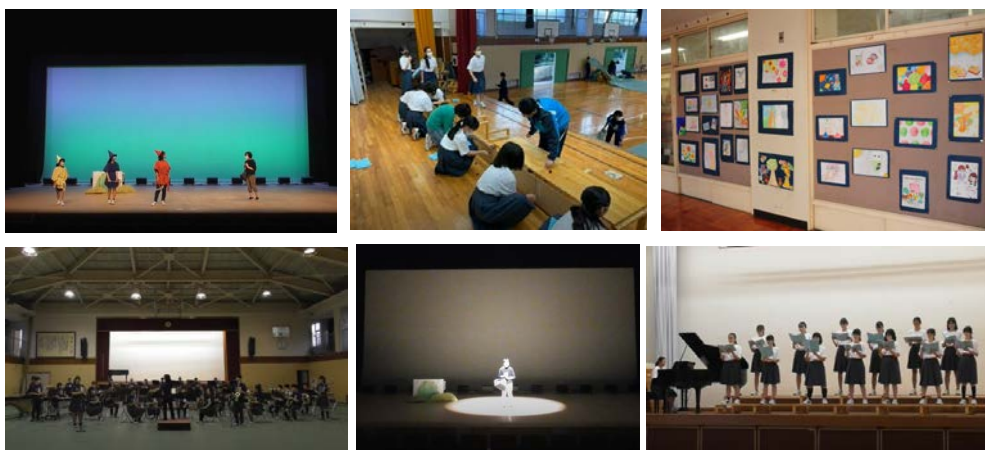


◇「唯一無二」の文歌祭

文歌祭担当 浦崎 未菜

10月21日(木)、本年度の文歌祭が開催されました。新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合唱の代替として全校モザイクアートの制作を行うこととなりました。夏休み前までは合唱を目標に活動していた中で、合唱を行えないということは、生徒にとって非常に辛い知らせであったことと思います。しかし、そこで「文歌祭完全中止」とするのではなく、スローガン「唯一無二～私たちだけの文歌祭～」に則り、今年しかできない文歌祭をしよう！と文歌祭実行委員を中心に奮い立ち、唯一無二の文歌祭に向けて、活動が始まりました。出来上がったモザイクアートは、横3m、縦4mの迫力ある作品となりました。全校生徒の誰が欠けても、完成しえなかった大作です。実物を掲示したときに、学校中の窓という窓から、モザイクアートを一目見ようとたくさんの生徒が詰めかけていた様子がとても印象的でした。モザイクアート制作の様子をまとめた映像も、当日の生中継も、すべて文歌祭実行委員の発案によるものです。モザイクアートの実物だけでも素晴らしい作品でしたが、映像と生中継により、より一層、みんなで力を合わせてひとつのものを作り上げる喜びを実感できたのではないのでしょうか。文化部、7組のみなさんの発表・展示も見事な出来映えて、分散登校明けの短期間でここまで仕上げるには、たくさんの苦勞と工夫と努力があったことと思います。本当にありがとうございました。

状況は落ち着きを取り戻し、音楽の授業では合唱の練習が始まりました。3学期に学年合唱発表会が開催できることを祈って、引き続き感染症対策に取り組みつつ、様々なことにクラスで力を合わせて取り組んでいって欲しいと思います。最後になりますが、保護者のみなさまのご理解、並びにあたたかいご支援をありがとうございました。今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。





◇学校図書館へようこそ！

10月27日～11月9日は、読書週間です。さらに、横浜の市立学校では11月第一金曜日を「はまっ子読書の日」としています。

そこで、学校図書館（図書室の正式名称です）の運営に日々ご健闘いただいている本校の学校司書田中幸子さんにおたずねしてみました。

Q 学校司書のお仕事を教えてください。

A 本の貸出・返却、本や資料の管理の他、学習に役立つ資料を用意して生徒の学びの手助けをしています。

Q お仕事をしていて楽しいことは何ですか？

A 生徒が読みたがっている本を探して手渡したときの生徒の笑顔や目の輝きを見ると嬉しくなります。



Q 逆に苦勞することは何でしょう？

A 情報が古くなった本を見極めることです。学校司書の仕事は奥深いので日々勉強です。

Q 学校図書館を利用する生徒たちの様子を教えてください。

A 課題をやっている、友達と嬉しそうに本を見ている、コツコツと読書をしている、生徒の様子は多様です。これからも生徒が安心して利用できる図書館にしたいです。

Q 学校図書館を利用する生徒への願いをお聞かせください。

A 読みやすい本、写真に圧倒される大図鑑等から、読む・見る楽しさを味わえます。学校図書館で生徒たちが夢や可能性を広げ、心豊かな中学校生活を送ってほしいです。

Q 最後に、生徒と保護者のみなさんにお薦めする本を一冊ずつ紹介してください。

A 生徒のみなさんには、「かがみの狐城」辻村深月著 2018年本屋大賞1位受賞作です。学校図書館でも人気です。主人公は中学生。ファンタジー？それともミステリー？登場人物が個性的なのも魅力です。保護者の方には、「アーモンド」ソン・ウォンピョン著 2020年本屋大賞翻訳小説1位受賞作をお薦めします。「人は自分を理解している存在がいることで成長できる」ことを教えてください。

田中さん、ありがとうございました。これからも釜利谷中の学校図書館をよろしくお願ひします。

◇11月の主な予定

1日(月)	朝会
2日(火)	市総合体育大会閉会式(中止)
5日(金)	はまっ子読書の日
6日(土)	公開授業(中止)
7日(日)	3年英検二次試験
10日(水)	個別支援学級合同遠足(中止)
15日(月)	期末試験(～17日)
25日(木)	学校保健委員会 専門委員会



次回の発行予定日は12月1日(水)です。